

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

1 事業の成果

平成 30 年度は、発信創造型の企画制作事業継続と、その基盤づくりに力をそそぐとともに、東日本大震災からの文化復興を目指す「文化芸術によるコミュニティ形成事業」、「文化振興プロジェクト事業」と、26 年度に指定管理業務を受けた「もりおか町家物語館」「宮古市民文化会館」の運営の充実を図るとともに、地域での創造発信事業と次世代の人材育成と交流事業に積極的に取り組んだ。このため県や民間団体の助成制度の活用を図るとともに、指定管理施設事業と法人独自事業のリンクを強化したプロデュース事業の充実を図った。なお、宮古市民文化会館は、平成 31 年度から次期指定管理期間（5 か年）となり、平成 30 年 10 月に指定管理者応募者（公募）審査が行われ、指定管理の継続が決まった。

「残花」「長寿庵啄木」に続く 3 年目のアーティスト・イン・レジデンス演劇事業の「ジョパニの切符」は盛岡と久慈で実施し予想を上回る集客を得た。また、NPO 等による復興支援事業は、市民参加劇読本の発行や震災エッセイの募集等で高い評価を得た。指定管理者事業は、宮古市民文化会館で教育普及活動に力を入れ、劇場音楽堂法による文化庁助成を受け実施した。もりおか町家物語館は、お化け屋敷やジャズとワインの夕べ、古本市等好評事業が定着するとともに、各種講座ものも一定の集客を果たした。

半面、財源確保及び収支については、例年にない減益となり単年度赤字を計上した。これは、各種助成金は得たものの、一部自己負担分の財源を十分に確保できなかったことと、二つの指定管理施設も利用料金収入が前年より落ち込み、黒字ではあったが大きく減収となり、余力を社会貢献事業等に回すことが出来なかったためである。さらに、会員・賛助会員増も少なく、各種企画提案型事業、公的機関からの委託事業も減少し減収となったためである。

単年度赤字にもかかわらず法人の財務は、依然として正味財産で今後 2 年程度は従前どおりの運営が可能であり、ただちに経営不安とはならないが、予想外の社会の変化に対応できるほどの体力はなく、単年度赤字が継続することは厳に防がなければならない。

このため、平成 31 年度（令和元年度）は、経常経費の削減に努めるとともに、指定管理施設の一般管理料は通常の相場より低く抑えているので増額措置を講じるほか、利用料収入増や経費削減を図り、指定管理施設収益を例年並みに戻す必要がある。直営施設の風のスタジオも平成 30 年度の利用料はわずかに減じているので、主催事業を新たに設けるなど、自主財源の確保や利用者勧誘を図り増収につなげる必要がある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業概要	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1 情報発信事業	1 HPの運営	岩手のアーツ情報の紹介。FBも併用（本部及び指定管理施設の相互リンク）	通年	全域	2名	閲覧 5,000回	88
	2 「風の通信」発行（毎月発行）	もりおか町家物語館通信と共同製作とする。主催事業紹介とコラム等・リレーエッセイを載せる（HPにも同時掲載）	通年	全域	2名	会員及び利用者 約1,000名	15
2 人材育成事業	1 チャレンジシアター	若手及び新たな企画を採択。提携公演＝利用料35%引きで実施。	通年	盛岡	1名	2回実施 総観客数 176名	0
	2 「アーツいわて塾」	40歳未満の若手舞台表現家を育成する。映画製作講座、ボイストレーニング講座、身体表現講座、中高生のための演劇ワークショップを実施した。	6～11月	盛岡 二戸	1名	受講者数 22名	204
	3 ゼロからはじめる中高生のための演劇シリーズ（宮古市民文化会館事業）	宮古市民文化会館で中高生による演劇づくり事業『Q学』公演実施。 ※事業費は「4-3 宮古市民文化会館企画事業」に合算。	3月	宮古	2名	中高生参加者 12名 観客数 287名	-
	4 サポーター研修	風のスタジオでのサポーター研修を4回実施した。	通年	盛岡	1名	参加者のべ47名	0

	5 文化振興プロジェクト事業	真如苑の助成で、音楽・美術・演劇・文学・映像の各分野を支援。	通年	県内	5名	参加者・観客総数 2,446名	3,101
	6 みやこ演劇ファクトリー事業 (宮古市民文化会館事業)	みやこ市民劇の継続のため参加者を中心として立ち上げた団体へ技術研修等を支援。	通年	宮古	1名	参加者のべ 52名	-
	7 職員・会員研修	会員や職員等を対象とした舞台基礎知識およびアートマネージメントの研修を実施した。	4月	盛岡	1名	参加者 15名	7
3 企 画 制 作 事 業 お よ び 鑑 賞 事 業	1 朗読劇	○高橋克彦百物語 もりおか町家物語館「お化け屋敷」と連携し3作品3公演を実施。	7月 8月	盛岡	2名	3公演 総観客数 200名	238
	2 自主企画公演 (朗読劇を除く)	○「森荘巳池劇場」 もりおか町家物語館での上演、企画製作は劇団赤い風と提携し実施した。	7～8 月	盛岡	2名	観客数 148名	185
		○もりおか町家物語館「お化け屋敷」「鉦屋町の手仕事展」ほか展示企画。	通年	盛岡	7名	展示観客 6,480名	808
	3 発信創造型企画 (国の文化振興基金助成事業)	○宮澤賢治アンソロジー「ジョバンニの切符」 東京から俳優・スタッフを招聘しアーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を行い、盛岡・久慈で上演した。 (いわて文化振興プロジェクト、NPO等による復興支援事業)	3月	盛岡 久慈	3名	総観客数 709名	3,804

	4 もりおか町家物語館企画事業	「森荘巳池劇場」「町家のお化け屋敷」ほか ※事業費は「4-2 指定管理事業 もりおか町家物語館」に記載	通年	盛岡	7名	総観客数 13,995名	-
	5 宮古市民文化会館企画事業	芸術文化事業12本(学校鑑賞事業4本、一般鑑賞事業4本、その他事業4本) 自主文化事業6本(みやこ市民劇ファクトリー、こども劇団みやこデイズー公演、「ダンス借景」「Q学」ほか) ※事業費は「4-3 指定管理事業 宮古市民文化会館」に記載	通年 随時	宮古	7名	総観客数 17,658名	-
4 施設管理運営事業	1 風のスタジオ、風のアトリエの管理運営	風のスタジオ 利用日数157日 (前年155日) 風のアトリエ 利用日数88日 (前年98日) リハーサル室 利用日数144日 (前年83日) 利用料金2,038,659円 (前年2,126,541円)	通年	盛岡	3名	利用者数 2,970名	3,990
	2 指定管理事業「もりおか町家物語館」	浜藤ホール利用日数 156日(前年161日) 利用料金424,010円 (前年538,700円) 企画事業各種(詳細は「も	通年	盛岡市	7名	来館者数 66,571名	38,004 2122

		りおか町家物語館事業」を参照)					
	3 指定管理事業 「宮古市民文化会館」	大ホール利用日数 155日(前年100日) 利用料金 8,239,594円 (前年10,893,045円) 企画事業各種(詳細は「宮古市民文化会館企画事業」を参照)	通年	宮古市	8名	利用者数 54,271名	99,077
	4 その他の施設の指定管理者応募	特になし	通年	県内	-	-	-
5 社会教育・教育普及交流・復興支援事業	1 子ども演劇、ジュニアオーケストラの育成・支援	○「こども劇団みやこデイズ」の活動継続を支援した。 (宮古市民文化会館事業及び文化支援ネットワーク事業、いわて文化復興プロジェクト)	通年	宮古県内	2名	参加者 16名 公演観客数 274名	2,141
		○「みやこジュニアアンサンブル」の活動継続を支援した。(いわて文化復興プロジェクト)			1名	参加者 15名 観客数 200名	264
	2 いわて文化支援ネットワーク事業(文化芸術によるコミュニティ形成事業)	二戸=宮古の市民劇を通じた交流事業、沿岸朗読劇ワークショップ、震災エッセイの公募及び冊子発行、3.11文化復興フォーラム開催、文化支援の中間コーディネート、啓発事業、人材育成事業、文化ニーズのアンケート、「市民参加劇読本」発	通年	県内	4名	参加者・観客 2,000名 発行冊子 1,300部	5,159

		行などを実施。					
	3 文化芸術コーディネート事業	県からの委託事業（盛岡広域圏および沿岸広域圏）県民の文化芸術活動の支援のためアドバイスやコーディネート、ネットワーク会議などを実施した。	通年	盛岡 沿岸	2名	約150名	63
	4 風の公民館事業	◎「もりおか風の公民館事業」 ○風のアトリエ等 アーツいわて塾（再掲） ○もりおか町家物語館 プライマリージャズ・ 管楽器の学校・オラホの 盛岡弁塾・蓄音機の学校 など	通年	盛岡	6名	参加者総数 365名	-
6 その他	1 施設喫茶店の運営等	もりおか町家物語館内喫茶店「DOMA」の運営及びプレイガイドの運営。 なお、DOMAでは「お酒の学校」等の企画事業を実施。	通年	県内	4名	利用者数 2,810名 お酒の学校等参加者 78名	2,153 272
	2 文化芸術推進計画の策定支援と提言	県及び市町村の文化施策に対する提言等を行った。	通年	盛岡	2名	意見交換会参加者 12名	0

	3 各種共催事業の推進	(共催)三陸国際芸術祭共催および実行委員会参加 宮古郷土芸能祭ほか宮古地域でのイベント実施。	2月	宮古	6名	郷土芸能祭 観客数 445名 宮古プログラム総動員数 約1,000名	135
		(共催)寺山修司演劇祭共催および事務局担当 招待・公募作品4作、実行委員会主催作品2作	5～ 6月	盛岡	2名	演劇祭 総観客数 1,033名	0

(2) その他の事業

ミュージアムグッズの販売を行った。

事業名	事業概要	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
芸術文化等にかかる物品販売事業等	物販	ミュージアムグッズ販売 収入実績額 18,143円 (主に販売手数料収入)	通年	盛岡	7人	1